

万倉護国神社境内図

国司信濃公を主祭神に大東亜戦争までの殉難のご英霊 204 柱を祀る神社



五色椿(同じ幹に赤白ピンク等色違いの花が咲く)

国司信濃公を祀る祠
並びに英霊の墓(元は埵招魂場に鎮座平成18年この境内に遷座)

万倉護国神社本殿

神額の字体は陸軍大将井上幾太郎閣下による

弁財天(弁天様)

国司信濃公胸像
元治100周年記念
昭和39年建立

埵招魂場に有った鳥居を移設

国司信濃公の句の碑
「跡たれて君をまもらむみどりそう
万倉の山の松の下かげ」
幽囚への旅立ちの際、万倉を思い読まれた句

国司信濃公顕彰碑
贈正四位国司君碑正二位勲
一等公爵毛利元徳篆額
詳細は拝殿に記す
明治25年建立
元は埵招魂場に有った碑を
万倉遺族会の尽力で移設

万倉出身の陸軍大将
井上幾太郎閣下顕彰碑
日清、日露に従軍
陸軍航空兵力の充実に
尽力
題字は毛利元道書
昭和31年建立

万倉護国神社初代宮司
河本真澄顕彰碑
「いしぶみに我魂こめて
としえに神の霊前に
仕へ奉らむ」真澄84歳

靖国神社遥拝鳥居

この地は大内時代の領主末富蔵人丞の城があったところで、末富氏を祀る祠

手水鉢

この下の県道37号(宇部美祢線)は、第18回国民体育大会山口大会(1963. S38)の際整備され、万倉護国神社の境内地が削られ現在の掘割になり、石段となった。



万倉護国神社 HP

万倉護国神社社務所